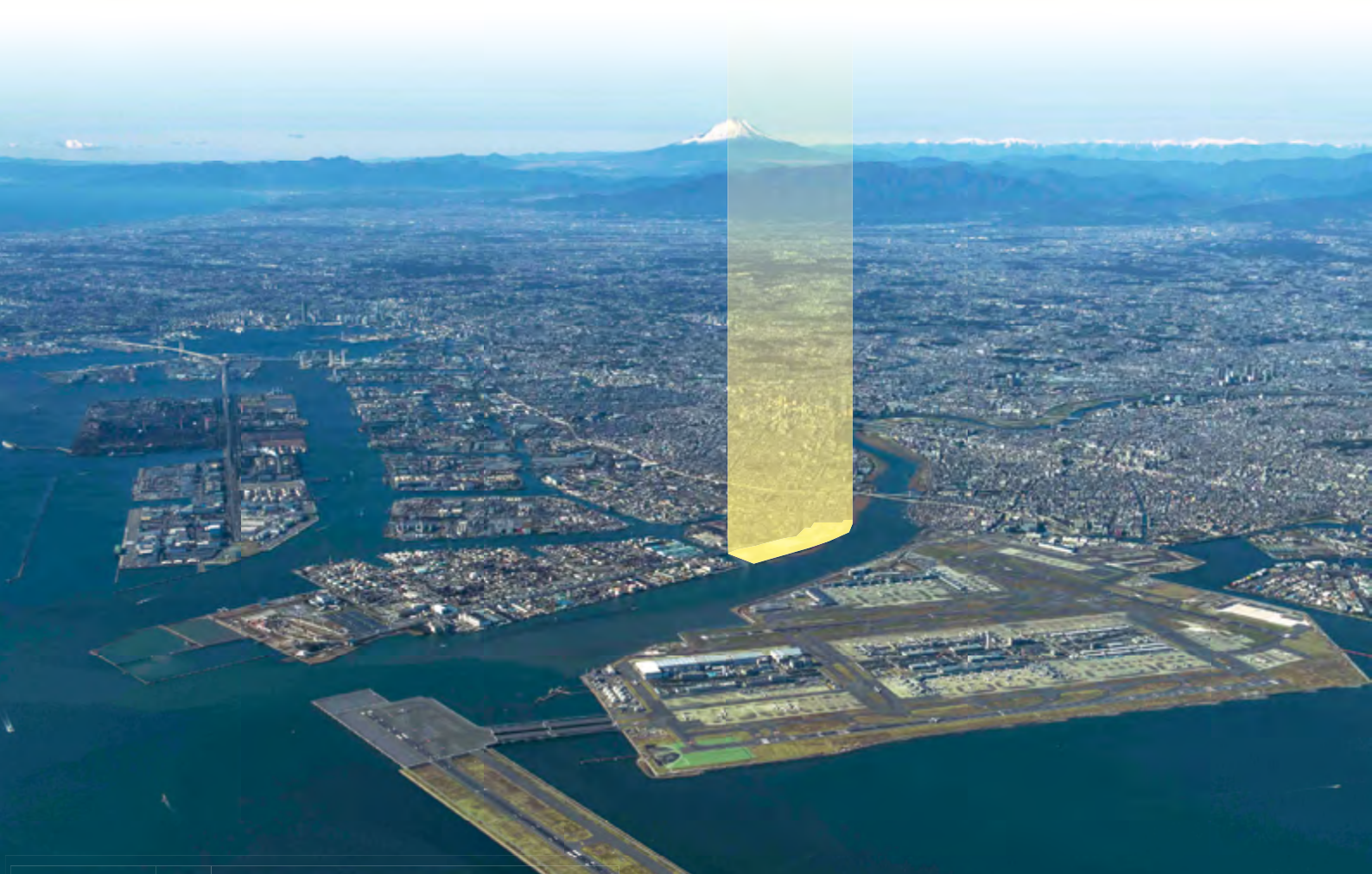
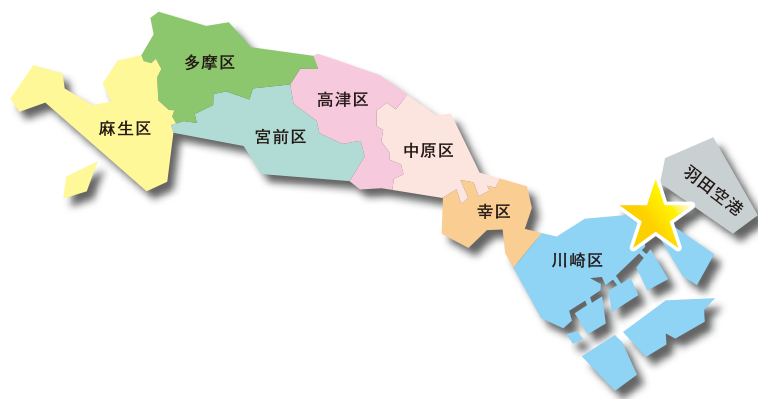


Kawasaki INnovation Gateway at SKYFRONT

KING SKYFRONT

ここ川崎から世界が、未来が変わる。



**キング スカイフロントは、
世界最先端のライフサイエンス分野の研究開発エリアです。**

キング スカイフロントとは

キング スカイフロントは、川崎市殿町地区（羽田空港の南西、多摩川の対岸）に位置する、**世界最高水準の研究開発から新産業を創出する** オープンイノベーション拠点です。

約40haに及ぶこのエリアでは、**健康・医療・福祉、環境** といった課題の解決に貢献するとともに、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことで、日本の成長戦略の一翼を担います。

国家戦略特区・国際戦略総合特区・特定都市再生緊急整備地域 に指定されているエリアであり、規制緩和・財政支援・税制支援等の様々な優遇制度の活用が可能です。

※「キング (KING)」は、「Kawasaki Innovation Gateway」の頭文字と「殿町」に由来。「スカイフロント (SKYFRONT)」は、羽田空港の多摩川対岸という立地から、世界とつながる拠点であることを表しています。

キング スカイフロントの整備概要

2004年、いすゞ自動車川崎工場の移転に伴い、跡地の利活用が進められました。



1970年（いすゞ自動車川崎工場）



現在のキング スカイフロント

UR都市機構、株式会社ヨドバシカメラ及び川崎市等の所有地にあたる、都市計画のA・B地区について、UR都市機構と川崎市を施行者とした土地区画整理事業（殿町3丁目土地区画整理事業[約23ha]、2010年3月施行認可～2013年9月事業終了認可）を行い、2011年から順次、土地利用及び施設立地を進めています。

道路

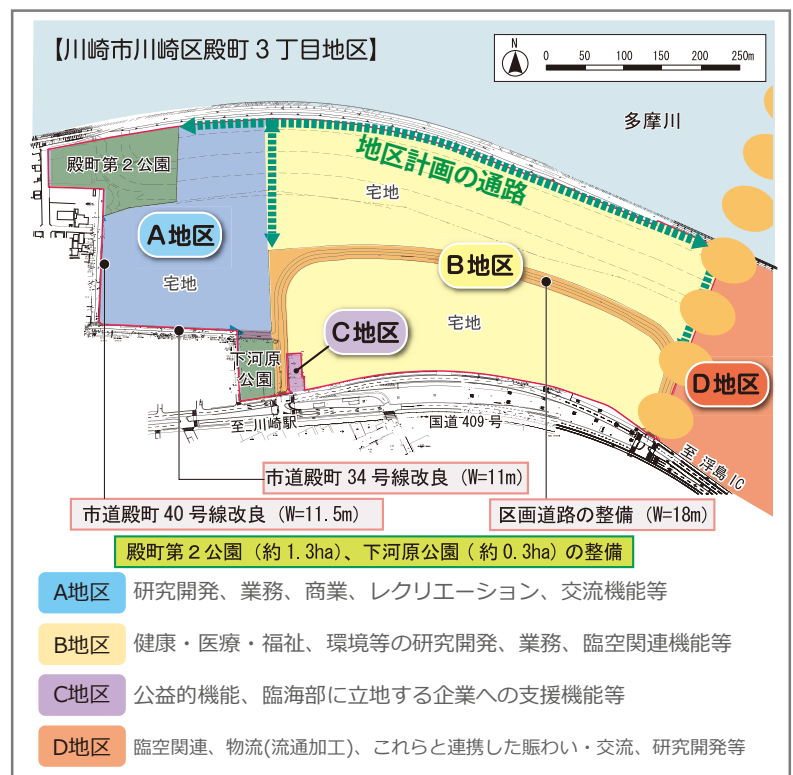
地区を東西に横断し、国道409号に接続する幅員18mの区画道路を整備しました。併せて、周辺市街地との調和のとれたまちなみ形成を図るため、現況道路の改良を行いました。

公園

多摩川沿いのオープンスペースの拠点形成を図るため、殿町第2公園（約1.3ha）を整備しました。また、地区の玄関口を演出する下河原公園（約0.3ha）を整備しました。

スーパー堤防

多摩川に沿った区域は、国土交通省により高規格堤防（スーパー堤防）整備がなされ、水害に強いまちとなりました。

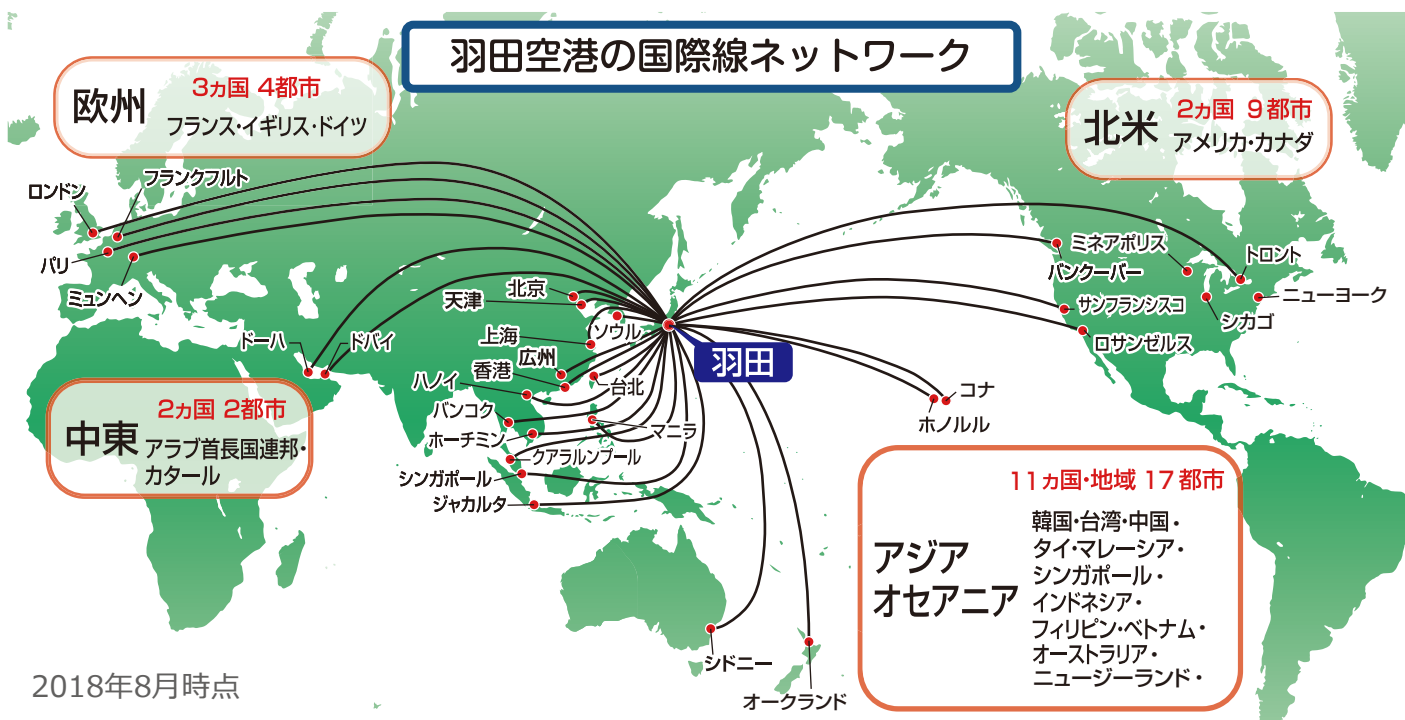


優れた立地と国際線ネットワーク

18カ国・32都市の就航先を誇る羽田空港と近接しており、国内はもとより海外とのスピーディなアクセスが可能です（2018年8月時点）。

首都高速道路、東京湾アクアラインに接続し、東名高速道路、国道1号線等の広域幹線道路網に近接しているため、東京都心をはじめ各地との至便な交通アクセスを誇ります。

京浜港（国際貿易港）を有し、優れたものづくり産業が集積する京浜工業地帯に位置しており、力強い産業都市づくりの一翼を担っています。



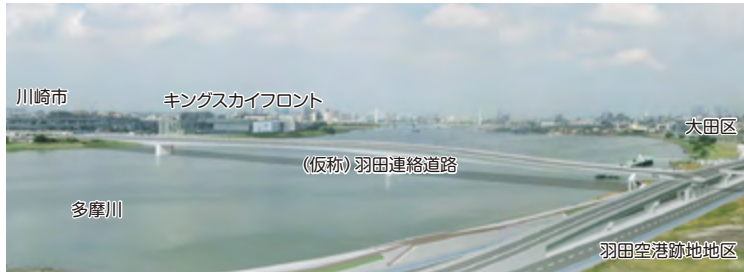
2018年8月時点

(仮称)羽田連絡道路の整備

(仮称)羽田連絡道路(橋梁、2車線)は、キングスカイフロントと羽田空港跡地地区との連携を強化し、2020年を目指した一体的な成長戦略拠点の形成を支えるインフラとして、国や東京都など関係機関と連携、協力を図りながら整備を進めています。

また、多摩川兩岸を結ぶ首都圏の広域的なネットワークを担う国道357号多摩川トンネルの取組も進められています。

連絡道路橋梁イメージ図(羽田空港側より多摩川上流を望む)



羽田空港跡地地区の整備

羽田空港跡地 第1ゾーン (約16.5ha)

土地区画整理事業(道路・公園・駅前広場等) >>> UR都市機構

第一期事業(約5.9ha) >>> 羽田みらい開発株式会社(出資企業9社)

<2020年にまち開き予定、2022年にグランドオープン予定>

延床面積 >>> 約125,400㎡

主要用途 >>> 研究開発施設(ラボ・大規模オフィス)、先端医療研究センター、会議場、イベントホール、日本文化体験施設、飲食施設、研究・研修滞在施設、水素ステーション等

設計施工者 >>> 鹿島建設、大和ハウス工業

羽田空港跡地 第2ゾーン (約4.3ha)

<2020年6月までに開業予定>

事業者 >>> 羽田空港エアポート都市開発(株)(住友不動産等)

主要用途 >>> 宿泊施設(約1,700室)、バンケットルーム(600名)、飲食・物販等商業施設、バスターミナル等



拠点形成を支援する制度

国際戦略総合特区

(指定時期 >>> 2011年12月)

「我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点の形成について先駆的取組を行う実現可能性の高い区域」として国が指定

- > 規制の特例措置
- > 税制上の支援措置
- > 財政上の支援措置
- > 金融上の支援措置

特定都市再生緊急整備地域

(指定時期 >>> 2012年1月)

「都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域」として、都市再生緊急整備地域のうちから国が指定

- > 官民連携による整備計画
- > 財政上の支援措置
- > 民間都市開発プロジェクトの認定の迅速化
- > 税制上の支援措置

国家戦略特区

(指定時期 >>> 2014年5月)

「産業の国際競争力を強化するとともに、国際的な経済活動の拠点の形成を促進する区域」として国が指定

- > 規制の特例措置
- > 税制上の支援措置
- > 金融上の支援措置

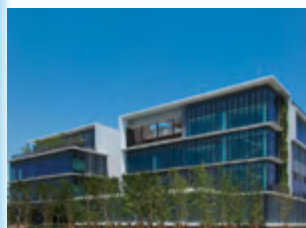
キングスカイフロントに集積する企業等 ~60以上の機関が立地~

A 川崎キングスカイフロント東急REIホテル (2018年6月運営開始)



昭和電工株式会社川崎事業所で作られた使用済みプラスチック由来の低炭素水素を、パイプライン供給により利用する世界初の水素ホテル。

B リサーチゲートビルディング殿町2 (RGB2) (2017年10月運営開始)



- 川崎市 キングスカイフロント マネジメントセンター
- 慶應義塾大学 殿町タウンキャンパス
- 東京工業大学 中分子IT創薬研究拠点
- 神奈川県立保健福祉大学大学院 (2019年度~予定)
- 大日本住友製薬株式会社

C 日本メドトロニック株式会社 メドトロニック イノベーションセンター (2017年9月運営開始)



医療従事者向けに、多様化する医療機器とその手技の安全かつ適正使用と浸透に向けて、手技トレーニング、シミュレーショントレーニング、各種セミナーなどのプログラムを提供する施設。

D リサーチゲートビルディング殿町1 (RGB1) (2018年2月竣工)



- セブンイレブン(コンビニ)
- 川崎殿町郵便局
- ラボ等

E 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) (2013年3月運営開始)



産学官の連携でイノベーションの創出を目指す、先端技術を有する企業、研究機関等が入居する複合施設。

- 川崎市 環境総合研究所
- 川崎市 健康安全研究所
- 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
- あてろーぶフォルテ(カフェ)
- 株式会社アルパコーポレーション
- 株式会社エスアールエル
- ソルベイ日華株式会社
- 株式会社天然素材探索研究所
- LabPMM合同会社

進出決定企業 (未竣工)

- 1 CYBERDYNE株式会社 (2014年8月進出決定)
- 2 JSR株式会社 (2017年1月進出決定)
- 3 川澄化学工業株式会社 (2017年1月進出決定)

F 実験動物中央研究所 (2011年7月運営開始)



ヒト化マウスや世界初の遺伝子改変霊長類をはじめとする、高品質で均質かつ再現性のある実験動物の開発を通じてヒトの病気の研究と解明を促進し、医療の発展と人々の健康・福祉の向上に貢献。

G 富士フイルム富山化学株式会社 川崎ラボ (2017年6月運営開始)



主に、がんやアルツハイマー病診断用の放射性医薬品の研究開発と供給を実施。



P クリエイトメディック株式会社 研究開発センター (2016年6月運営開始)



シリコン製カテーテルを中心に各種医療機器の素材や技術の研究開発に取り組むとともに、オリジナリティ溢れた技術と医療の現場に寄り添った製品開発を実施。

O 国立医薬品食品衛生研究所 (2018年3月運営開始)



医薬品や医療機器、食品、生活環境物質等について、品質、安全性、有効性を正しく評価し、真に国民の利益にかなうように調整するための科学、レギュラトリーサイエンスの中核研究機関。

N 全日本空輸株式会社 ANA殿町ビジネスセンター (2014年7月運営開始)



羽田空港を出発するANAの国際線・国内線の機内食製造・配送、およびANAグループのオフィス等の複合施設。

H ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) (2015年4月運営開始)



産学官が一つ屋根の下に集い、異分野融合体制で難治性がんやアルツハイマー病などの難治性疾患の治療・診断の実現に向けた研究開発を実施。

- アキュルナ株式会社
- SBIファーマ株式会社
- 興和株式会社
- 株式会社ナノエッグ
- ナノキャリア株式会社
- 日東紡績株式会社
- 株式会社プレイソン・セラピューティクス
- 花王株式会社

I ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート (東京サイエンスセンター) (2014年8月運営開始)



医療従事者向けの、先端医療機器の安全使用に関するトレーニングを提供する施設。病院の手術室や検査室を再現した環境で実践的なトレーニングを行うことで安全かつ高度な医療の提供を支援。

J 日本アイソトープ協会 川崎技術開発センター (2017年6月運営開始)



アイソトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発などを実施。

K ライフイノベーションセンター (LIC) (2016年4月運営開始)



再生・細胞医療の産業化に向けて、研究開発や製造等を行う、国内外の関連企業等が入居する施設。

L ペプチドリーム株式会社 (2017年8月運営開始)



独自の創薬開発プラットフォームシステム「PDPS」を用いた「特殊ペプチド」による創薬研究開発を国内外の製薬企業と実施。

M 株式会社ヨドバシカメラ アッセンブリセンター (2005年運営開始 <2017年2月増設>)

ヨドバシカメラ全店舗で取り扱う商品の一時保管・配送、通信販売の梱包・出荷などを行う大型物流施設。

国プログラムを活用した研究開発・社会実装プロジェクト

革新的イノベーション創出プログラム (COI) (2013-2021) >>> 川崎市産業振興財団、
スマートライフケア社会への変革を先導するものづくりオープンイノベーション拠点 (COINS) 東京大学 ほか

体内を24時間巡回し、病気の予兆を見つけ、治療を行い、体外に情報を直ちに知らせる、夢のスマートナノマシンの開発に向けて、世界最先端のナノ医療研究機関や企業が結集し、産学官の壁を越えた融合研究を進めています。

リサーチコンプレックス推進プログラム (2015-2019) >>> 慶應義塾大学 ほか
世界に誇る社会システムと技術の革新で新産業を創る Wellbeing Research Campus

世界に先駆けて経験する超高齢社会の課題に向き合うことを通して、持続的に世界中の人々のWellbeingを高め、より魅力的で豊かな生活を実現させるための知見とサービスを生み出すことを目標とした取組を進めています。

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム (2017-2021) >>> 東京工業大学、
IT創薬技術と化学合成技術の融合による革新的な中分子創薬フローの事業化 川崎市産業振興財団 ほか

スーパーコンピューターや機械学習を駆使したIT創薬技術と、人工ペプチド・人工核酸などの独自の化学合成技術を融合して、中分子創薬の開発効率の大幅な改善を目指した取組を進めます。

国内外のライフサイエンス拠点との連携

国内外のバイオ・ライフサイエンスを中核とした産業拠点、ビジネス拠点との連携を推進しています。

BioM Biotech Cluster Development GmbH (ドイツ)

ドイツ・ミュンヘンのバイオクラスターマネジメント組織BioMと健康・医療・福祉分野を中心とした経済交流に関する覚書を締結。双方の地域における企業、研究機関間の橋渡しを行い、連携することによる国際的なイノベーション創出を目指します。

LINK-J (一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク)

医薬関連企業が集積する日本橋を拠点にオープンイノベーションの促進や新産業創造を支援する法人であるLINK-Jとライフサイエンス領域に関する相互連携の覚書を締結。

イベント、プログラム等における共催や各種情報の交換・発信、相互施設利用による活発な交流を行います。

キングスカイフロントネットワーク協議会

キングスカイフロントの立地企業や研究機関及び関係自治体等が構成員となり、産学官の連携により、本拠点の持続的な発展に取り組みます (2018年2月設立)。

目的：①研究開発拠点として魅力的なまちづくり、操業環境の向上 (エリアマネジメント機能)
②研究・事業活動の活性化 (クラスター推進機能)

子どもと科学の出会いを応援しています。

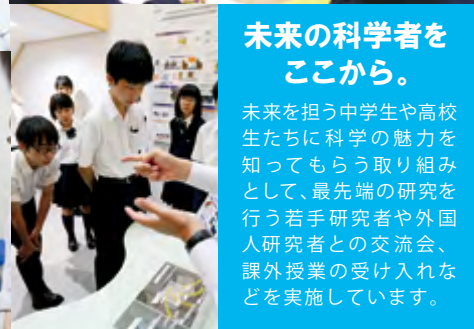
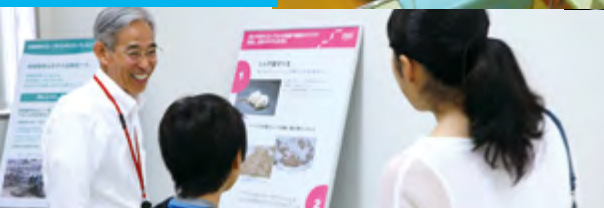
サイエンスをもっと身近に。

キングスカイフロントでは毎年「夏の科学イベント」を開催しています。立地企業や研究機関がそれぞれの特徴を生かしたブースを設置し、小学生を中心に子どもから大人まで科学に親しむことができます。

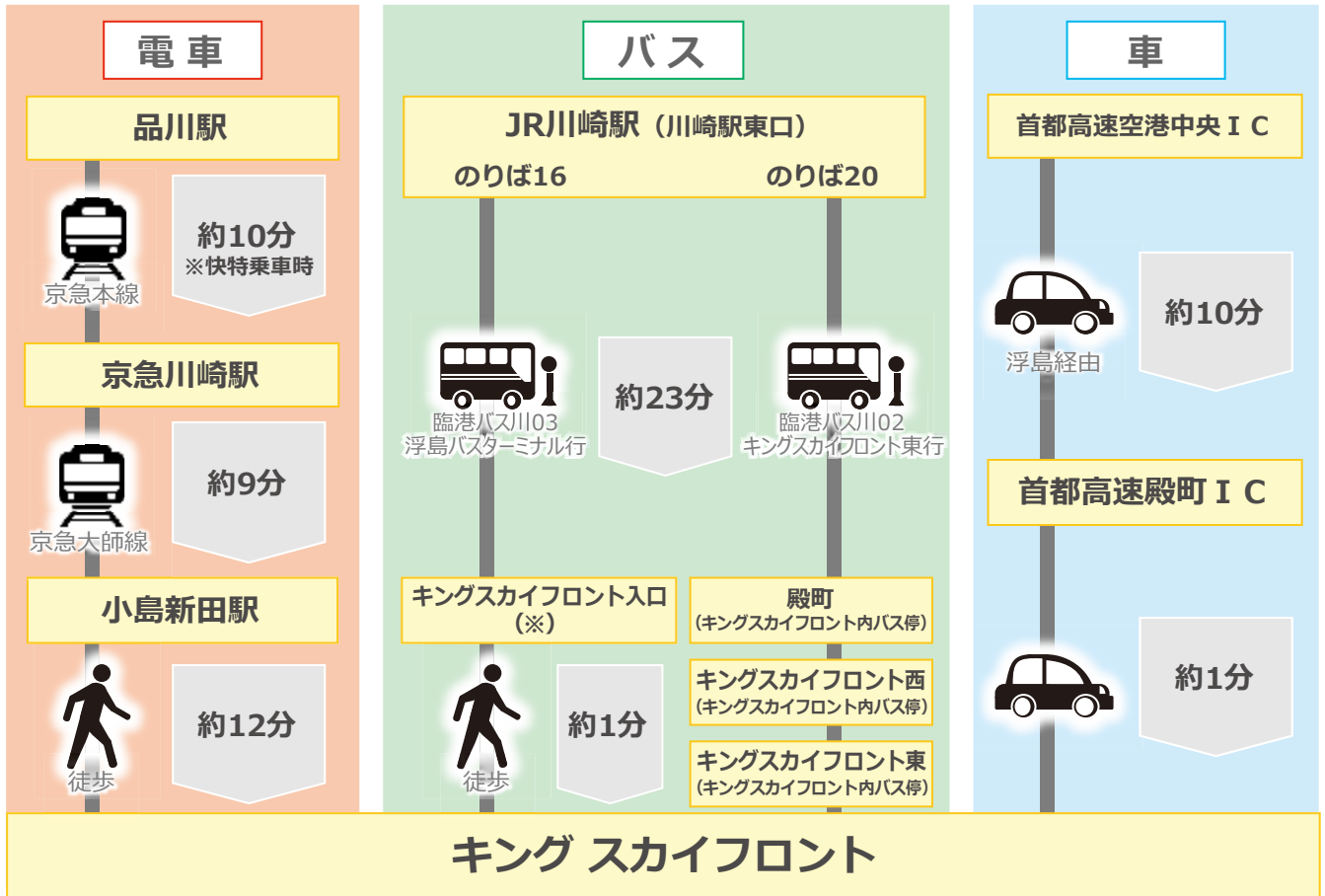


未来の科学者をここから。

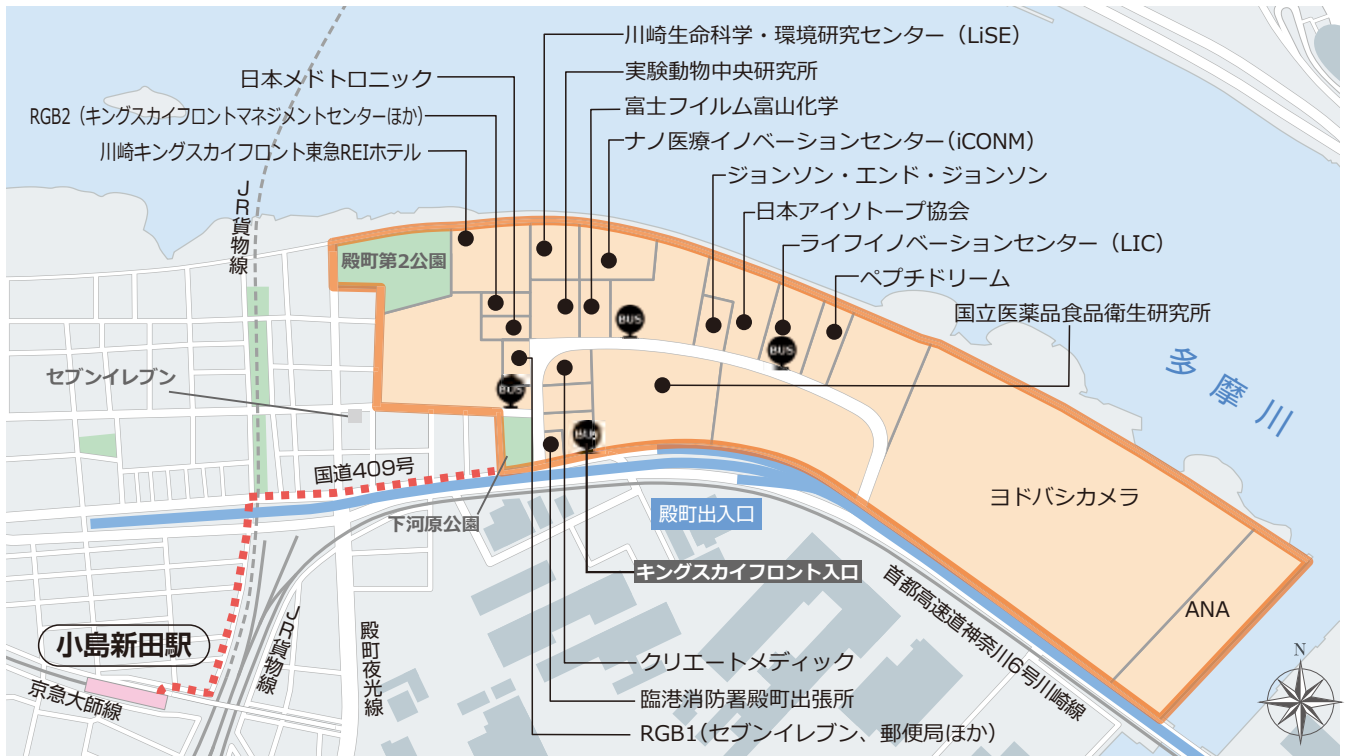
未来を担う中学生や高校生たちに科学の魅力を知ってもらう取り組みとして、最先端の研究を行う若手研究者や外国人研究者との交流会、課外授業の受け入れなどを実施しています。



アクセス



※JR川崎駅 (川崎駅東口) のりば20から出発する「臨港バス (急行 快速 浮島橋行)」も停車します。



お問い合わせ先



〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
 川崎市 臨海部国際戦略本部 電話 044-200-2945

〒163-1313 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー 13階
 独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部
 事業推進部 事業推進第2課 電話 03-5323-0525